MITSUBISHI
三菱電機エアコン

加湿器 [PAC-KB03CH (PFHA-100・125・J112・J140K-A、PFRY-125MR-A2、PFFY-J112・140RM) / PAC-KB04CH (PFHA-200・250・J224・J280K-A、PFRY-200・250MR-A2、PFFY-J224・J280RM)] 取付説明書

WT10294X07

⚠ **注意**　適用機種を必ず確認し、誤使用のないようにお願いします。

安全のために必ず守ること

●ご使用の前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	**誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。**
⚠注意	**誤った取扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。**

・お読みになったあとは、取扱説明書とともに、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
・お使いになる方は、取扱説明書とともに、いつでも見られる所に大切に保管し、移設・修理の時は、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

⚠警告

取付けは、販売店又は専門業者に依頼してください。

●ご自分で取付け工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

取付工事は、この取付説明書に従って確実に行ってください。

●取付けに不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。

●接続や固定が不完全な場合は、発熱・火災等の原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。

●電気回路容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。

空気清浄機、加湿器、暖房用電気ヒータ等の別売品は必ず、当社規定の製品を使用してください。

●また、取付けは専門の業者に依頼してください。ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

改修は絶対にしないでください。また、修理は、お買上げの販売店にご相談ください。

●修理に不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

据付けをする前に

⚠注意

食品・動植物・精密機器・美術品の保存等特殊用途には使用しないでください。

●食品の品質低下等の原因になります。

病院、通信事業所などに据付される場合は、ノイズに対する備えを十分に行って施工してください。

●インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になります。

特殊環境には、使用しないでください。

●油・蒸気・硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損することがあります。

濡れて困るものの上にユニットを据付けないでください。

●湿度が80%を越える場合やドレン出口が詰まっている場合は、室内ユニットからも露が落ちる場合もあります。また、暖房時には室外ユニットよりドレンが垂れますので必要に応じ室外ユニットも集中排水工事をしてください。

据付け（移設）・電気工事をする前に

⚠注意

電気配線は、張力がかからないように配線工事をしてください。

●断線したり、発熱・火災の原因になります。

梱包材の処理は確実に行ってください。

●梱包材には「クギ」等の金属あるいは、木片等を使用していますので放置状態にしますと「さし傷」等の原因になります。

製品の運搬には、十分注意してください。

●20kg以上の製品の運搬は、１人でしないでください。
●製品によってはPPバンドによる梱包を行っていますが、危険ですので運搬の手段に使用しないでください。
●熱交換器フィン表面で切傷する場合がありますので、素手で触れないように注意してください。
●包装用のポリフクロで子供が遊ばないように、破いてから破棄してください。窒息事故等の原因になります。

試運転をする前に

⚠注意

濡れた手でスイッチを操作しないでください。

●感電の原因になります。

エアフィルタをはずしたまま運転しないでください。

●内部にゴミが詰まり、故障の原因になります。

運転中にパネルやガードをはずしたまま運転しないでください。

●機器や回転物、高温部、高電圧に触れると巻き込まれたり、火傷や感電の原因になります。

運転停止後、すぐに電源を切らないでください。

●必ず５分以上待ってください。水漏れや故障の原因になります。

1. 付属部品

この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、ご確認ください。

No.	品　　名	個　　数	
		PAC-KB03CH	PAC-KB04CH
1	加湿エレメント	1	2
2	給水タンクユニット	1	1
3	給水バルブセット（ストレーナ付）	1	1
4	電磁弁	1	1
5	リードセンA	1	1
6	リードセンB	1	1
7	リードセンC	1	1
8	パンタイ	3	3
9	PTTネジ（4×10）	8（予備2本含む）	8（予備2本含む）
10	配管	1	1
11	PTTネジ（3.5×10）	3（予備1本含む）	3（予備1本含む）
12	リードセンD	1	1

2. パネル取外し・取付

本体の上部パネルを取り外します。（ツマミネジ2本）（図1）
取付ける場合は逆の手順で行ってください。

3. 加湿器取付

(1) 加湿エレメントを熱交換器の上に乗せてください。（図2）

注1.加湿エレメントは左右どちらかに片寄らないで、熱交換器の中央を境にして左右均等となるようにしてください。またPAC-KB04CHの場合、2個の加湿エレメントをできるだけ近づけてください。

注2.加湿エレメントは給水口が左側に、また給水口が上を向くようにしてください。

(2) タンクユニット及び電磁弁を電磁弁取付板に付属部品⑨（PTT4×10 ネジ6本）で固定してください。（図3（a）（b）（c））

注1.右配管の場合は電磁弁は給水タンクの右側に取り付けてください。

(3) 給水タンクユニットに接続されている黒色チューブを電磁弁に取り付けてください。接続の際はチューブが折れないように注意してください。（図3-（e））

注1.チューブは図4の様に、スリーブをセットした後、給水口に充分に差し込み、ナットを手締めした後、ダブルスパナで増締してください。（取付要領を参考にしてください。）

(4) 給水タンクのドレンホースを固定してください。（図3（d））

(5) 配管、給水バルブセットを接続してください。（図3（e）、図6）

注1.付属のバルブセットはストレーナとボールバルブがセットになっています。またストレーナと給水銅管（6φ）の接続（フレア接続）部分の締め付けトルクは13N･mです。

注2.ストレーナは給水用電磁弁の保護のために入っています。保守時ストレーナの網を着脱する必要がありますので、ストレーナ着脱用ナットを外せるように配管してください。

注3.給水側接続部分（PT1/2）にはシールテープを用いて水漏れのないよう配管接続してください。なおバルブまでの給水配管は現地手配となっています。

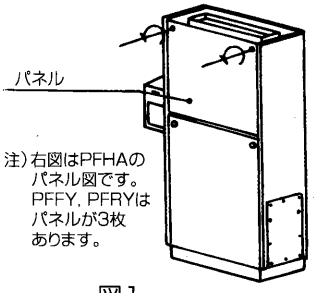


図1

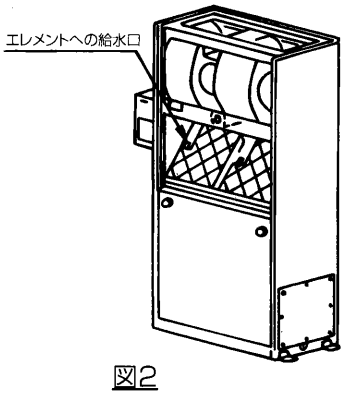
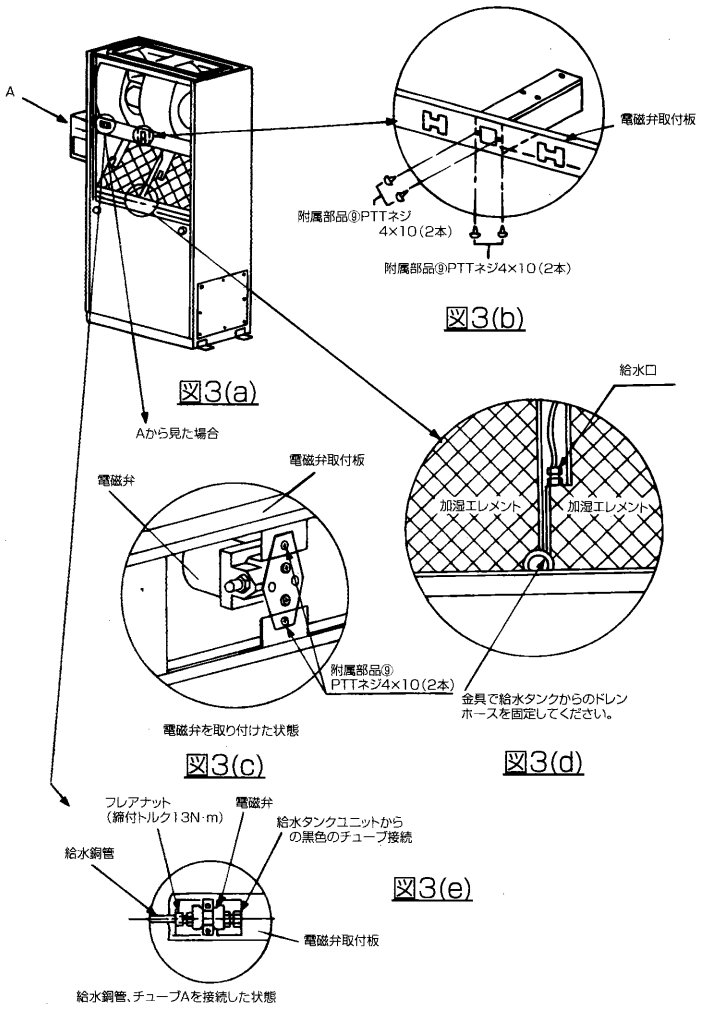
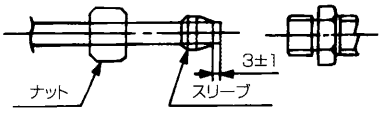


図2





注. 上記の指定寸法を守って下さい。
突き出していないと水漏れの原因となります。
(締付トルク1.0~1.5N·m)

図4

図5

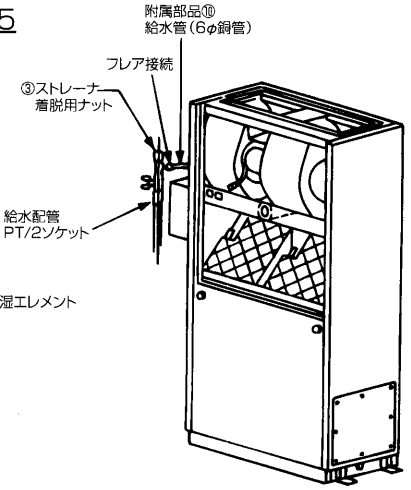
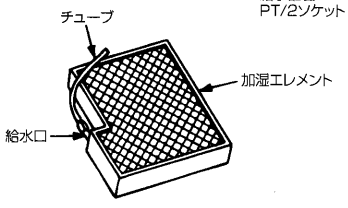


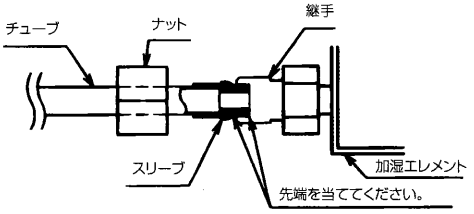
図6

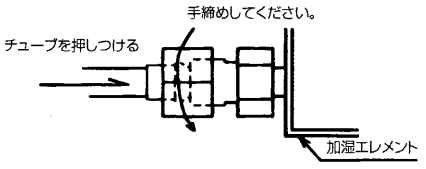


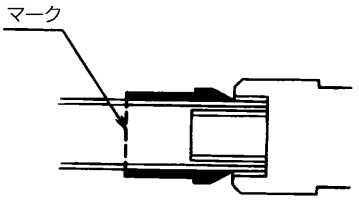
給水チューブ取付要領

●チューブを継手にはめ込み、先端とスリーブが継手に当たるように押し込んでください。その後、チューブにマークを付けてナットを手締めしてください。

注) チューブ先端が継手の奥に密着していないと水もれの原因になりますので必ず押し込みながらナットを手締めしてください。

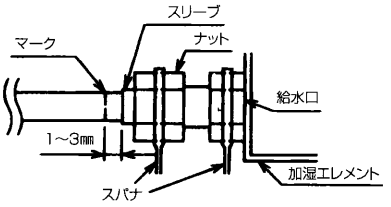






注) スリーブのマークがずれていないことを確認してください。

●ナットをダブルスパナで$4.0^{+0.5}_{0}$N·mの力で締めつけてください。



注) チューブのマークがスリーブ端から外側に1~3㎜程度ずれることがありますが、この範囲では問題ありません。

4. 配　線

PFHAの場合

※図7～9をご参照ください。

1 電気品箱のカバー取外し・取付方

a）カバーの取外し方（図⑦）
　カバー1は4ヶ所のネジを緩め、①方向に持ち上げ、②の方向に引き、取り外します。カバー2は2ヶ所のネジを緩め、取り外します。
b）カバーの取り付け方
　a）カバーの取り外し方と逆の手順で行ってください。

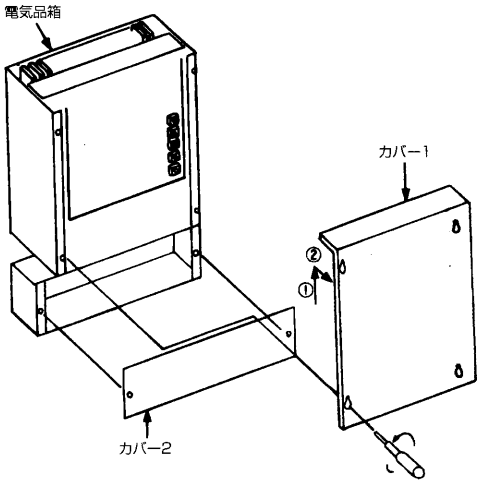


図7

2 配線方法 図8・図9

a）付属部品⑦リードセンCのリレーを付属部品⑪（PTT3.5×10ネジ2本）で固定してください。
b）付属部品⑤リードセンAのコネクタ白色をインドア基板のコネクタCN10に他端のギボシをフロートスイッチに接続してください。
c）付属部品⑦リードセンCのコネクタ白色をインドア基板のコネクタCN25に接続してください。
d）付属部品⑥リードセンBの2Pコネクタ緑色を電磁弁に、4Pのコネクタ白色を図の位置に接続してください。相手側の4Pコネクタ白色（制御ボックス側）から出ているリードセンを図に示してあるリレーの3番ピン及び4番ピンに接続してください。（無極性）

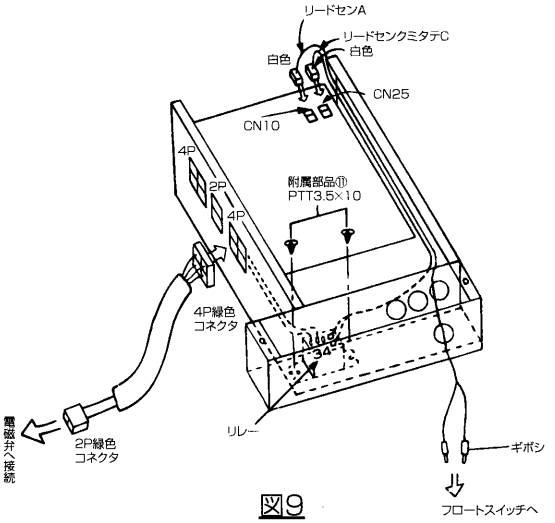
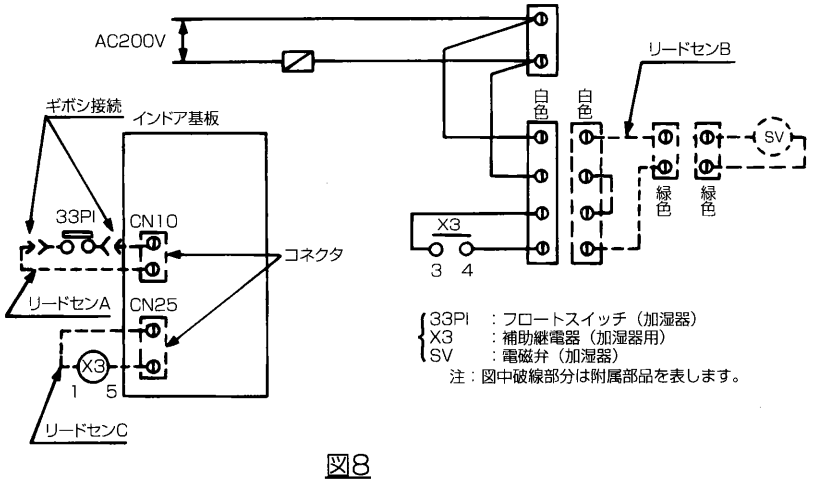


図9



33PI　：フロートスイッチ（加湿器）
X3　　：補助継電器（加湿器用）
SV　　：電磁弁（加湿器）
注：図中破線部分は附属部品を表します。

図8

PFFY, PFRYの場合

※図10をご参照ください。

a）付属部品リードセンCのリレーに接続されているリード線を取り外し、リレーのみサブボックスの下記位置に付属部品（PTT3.5×10ネジ2本）で固定してください。

b）リードセンDのギボシをフロートスイッチに、他端の2Pコネクタ白色をアのゴムブッシュより外へ取り出し、サブボックス中の基板のコネクタ“CN25カシツ”用に接続、もう他端のファストン端子は、上記a）で固定したリレーの1,5番に接続してください。

c）付属部品リードセンBの2Pコネクタ緑色を電磁弁に接続し、イのゴムブッシュ（既にモータの中継線が通してある）より外へ取り出し、サブボックス横の4Pコネクタ白色と接続してください。尚、ゴムブッシュより外へ取り出した線は、モータ用中継線といっしょにクランプにて固定してください。

d）既にサブボックス内に接続されているコード内、ファストン端子処理されている線2本をリレーの3,4番へ接続してください。

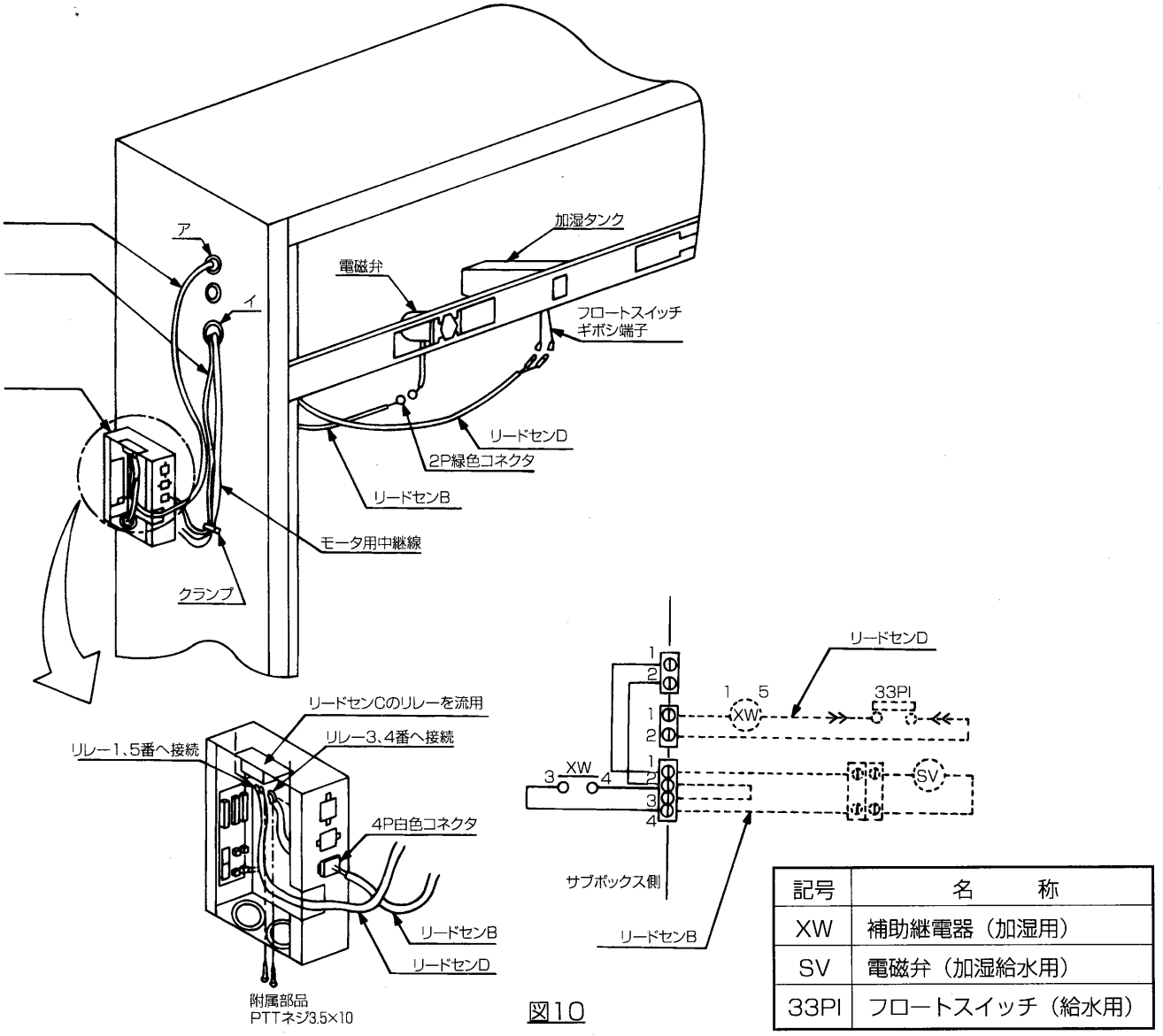


図10

記号	名　　称
XW	補助継電器（加湿用）
SV	電磁弁（加湿給水用）
33PI	フロートスイッチ（給水用）

5. ディップスイッチ切替

※PFHAの場合のみ必要です。

上記電気配線完了後、電気品箱内のインドア基板上のディップスイッチSW5の6番をON側に倒して給水異常検出を有効としてください。

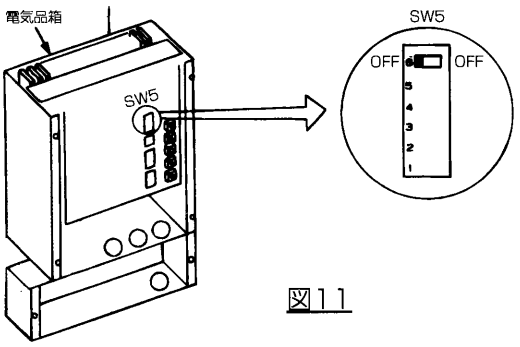
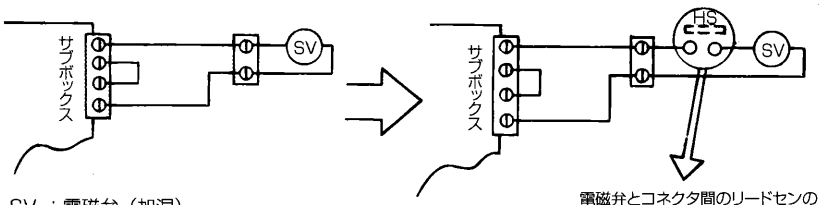


図11

6. ヒューミディスタットの取付について

ヒューミディスタットを使用される場合は図12のように接続してください。



SV ：電磁弁（加湿）
HS ：ヒューミディスタット（現地手配）

図12

7. 現地側給水配管工事

1. 給水配管は、付属の給水バルブに接続してください。
   給水バルブはPT1/2オネジです。
   付属銅管は、6φ
2. 給水配管には、防露工事を施してください。（電磁弁の入口まで）
3. 給水は、止水又は、上水を使用してください。但し、公共の水道管に直接接続する事はできません。この様な場合には、シスターンタンクをご使用ください。（給水圧力は最大0.49MPaまで可能です。）

8. メンテナンス

●加湿エレメントの交換

加湿エレメントの寿命は一般の上水で5年です。加湿能力の低下や加湿エレメントからの水洩れが確認されたら交換してください。

●加湿エレメントの乾燥についてのお願い

暖房シーズン終了後、そのまま放置しますと、場所によってはカビが発生することがあります。カビの発生を防止するため、暖房シーズン終了後、加湿エレメントの強制乾燥をおこなってください。強制乾燥は、バルブを閉じ、暖房運転してください。

三菱電機株式会社

WT10294X07